

調和療法のひかりあめ

ホロスコープ療法を 受診される貴方へ

ホロスコープのシンボルと構造

2017.1.23

■古典占星術の叡智を汲み入れています

19世紀後半から20世紀初頭に掛け、太陽系の新たな惑星として、土星の外側の天体(カイロン、天王星、海王星、冥王星…アウタープラネットと呼びます)が発見されました。当時の占星術家たちは、それらのアウタープラネットの扱い方を試行錯誤し、彼らの創意工夫によって誕生したものが現代占星術です。しかし、三次元における人間の成長を意味する黄道十二宮の支配星として、新たに発見されたアウタープラネットを、無理矢理当て嵌めてしまいました。これらのアウタープラネットは、多次元の波動を放つため、特定のサイン(星座)の支配星になるのは、不自然極まりないことでした。また、計算をやすくするために、サイン内の角度における天体強度を無視し、また天体同士のディスポジット(制御・統制)関係も不明瞭にしてしまったのです。

単なる「占い」であれば、それも一興かもしれませんが、出生時のホロスコープには、その人の現世における人生計画が盛り込まれている以上、その内容は十分に、そして正確に吟味される必要があります。ひかりあめのホロスコープ療法では、2000年以上に渡って受け継がれた古典占星術の叡智を積極的に汲み入れ、魂の望んだ真の人生計画をお伝えします。

■ホロスコープ療法を受診されるにあたって

本資料は、調和療法のひかりあめのご提供するホロスコープ療法を、より充実したセッションにするためのドキュメントです。暗記する必要は全くありませんので、どうぞご安心下さい。セッション当日までに何回か(少なくとも2回、多い程良い結果を生みます)目を通して頂くだけで結構です。

ホロスコープ内側の円盤上のシンボル(感受点と言います)のカタチと意味、そして、ホロスコープ最外周の円盤上(黄道十二宮と言います)に刻まれた12種類の星座のカタチと特徴を、ある程度理解して頂くために、本資料を製作しました。

ひかりあめのホロスコープ療法では、天空図(ホロスコープ)上の17の感受点(うち、天体は11)の意味する指標を、約80分間のセッションを通してお伝えします。セッションの内容は、ぜひ録音して頂き、後日何回も聴き直し、ご自身で感受点たちのメッセージを汲み取ったアフメーションをお作り頂くことで、最良の結果を生みます。

セッション当日までに、ひかりあめに事前準備します鑑定資料は、ご利用者様のために予め収集するものですが、実際のセッションでは、その中から必要な内容をリアルタイムに抜き出し、場合によっては内容も変更してお伝えします。そのため、こちらで準備しました鑑定資料は、混乱を避けるために差し上げることが出来ません。当日の録音内容とホロスコープ、ディスポジター・ツリー、ディグニティ・ポイント表、アスペクト表が、ご利用者様にとって重要な内容となります。

■感受点たちからのメッセージの受け取り方

ひかりあめのホロスコープ療法でお伝えする感受点たちのメッセージは、一種のストーリーのようなものです。そのストーリーは、そのまま受け取るのではなく、ストーリーの背景にある本質的な部分を、当事者である貴方が感じ取る必要があります。残念ながらこの作業は、セラピスト側では出来ません。そのストーリーの本質を見抜いて拾い上げられるのは、貴方の直感(宇宙と繋がる力)になります。ですから、セッション内容は録音する必要があり、それを何度も聴く必要もあり、貴方の魂を完成に導くアフメーションを、貴方自身の力で作る必要があるのです。

■ハウスと感受点

ホロスコープの内側の円盤には、1から12の数字が刻印されたハウスと呼ばれる区間(詳細は7ページから記載)があります。各ハウスには、感受点の無いハウスもあれば、逆に感受点の集中するハウスもあります。集中しているハウスは、今世における課題を教えてくださいが、感受点の無いハウスも、決して無意味ではありません。これらは、必要に応じて、セッション内でご説明いたします。

■ホロスコープ上の感受点たち

アセンダント(シンボルなし) …出生時の真東の空をアセンダントと言い、それは1ハウスの起点です。個人の自我の目覚めを意味すると同時に、人の生まれた瞬間を表しますが、生まれた後にも、物事の始め方や発想の基点として、影響を及ぼし続けます。いわば、素の貴方です。

Vx

ヴァーテックス…アセンダントの対極(180度反対側)となるディセンダントは、わたしたちが現世において惹かれるパートナー像です。他者の中に最も惹きつけられる性質が、自分自身に欠けていると感じる性質であることも意味します。一方で、このヴァーテックスは、「無意識のディセンダント」と呼ばれ、無意識のレベルで魅力を感じる相手を示します。いわば、過去世から引き継いだものであり、現世においてソウルメイトを探し出す手掛かりとなります。

ミッドヘブン(シンボルなし) …10ハウスの起点であり、社会的な立場を表す感受点です。社会における、貴方の看板や名刺のような存在で、天職や適職を教えてください。また、この180度対極となる4ハウスの起点には「イムム・コエリ」という感受点があり、宇宙との繋がりを経験する場所であり、ここを通じて自身の過去の記憶と繋がります。



ノースノード…このシンボルの180度対極には、サウスノード(図示はノースノードのみ)があり、これらがセットとなって、過去世からのギフトと落とし穴を教えてください。これらは天体ではなく、出生時の「太陽と月の軌道」の交点を視覚化したものです。



太陽…獅子座の支配星です。自分が自分らしく生きるための力を表す天体です。太陽の力をしっかり受け止め、発揮することで、個性や資質を余すことなく活かし、充実した人生を送ることができます。太陽の力が弱いと、各天体はバラバラに働き、人生の総合的な意味を感じる事が困難になります。太陽は公の場で生きる目的や目標に関係しており、月が自然体の自分であるのに対し、太陽は努力して向かおうとする自分です。これは、太陽の示す方向に向かって、成長すべきであることを意味しており、持って生まれた能力を表してはいません。



水星…双子座と乙女座の支配星です。知的能力を司り、素質として備える才能、興味を抱く分野、得意とする技術などを表します。同時に、コミュニケーション能力を水星は授けますので、生きるための処世術や、対人関係の取り方も示唆します。水星の位置する星座を上手く活かせば、どんな形で能力を発揮できるかが判ります。



金星…牡牛座と天秤座の支配星です。人生を彩る楽しみや、喜び全般を表す天体で、恋愛はそのひとつです。恋愛関係において、金星は女性を表し、女性なら自身の恋愛傾向や女性としての魅力を示します。また男性なら、好きな女性(星座の特徴を持つ女性に惹かれる)のタイプを意味します。



月…蟹座の支配星です。感情や情緒を司り、安定への欲求を表します。月の位置する星座からは、自分の本性や裏の性格、無自覚な心の癖、理性では抑えきれない感情などが読み取れます。月の力を発揮することで、情緒が安定し、月の入るハウスのポジティブな感情や欲求が表れます。



火星…牡羊座と蠍座の支配星です。欲しいものを、自らの力で得るための行動力を授ける天体で、火星の力を活かせないと、欲求不満になり挫折感を深めます。火星の力を知ることで、自分がどんな方法で目標を達成できるか、あるいは達成できないのはなぜかが判ります。勇気、行動力、積極性、攻撃性などを表し、暴走しがちな傾向も表します。



木星…射手座と魚座の支配星です。幸運を掴むために必要な態度と、掴むことのできる幸運を示す、拡大と成長の天体です。木星のある星座の性質を自分の中で意識的に拡大することで世界観が広がり、様々な幸運を引き寄せることができます。穏和な力、他者を容認する寛容さとも関係します。木星の支配する場所は、どんなものでも拡大させる特徴があり、その人の善意の宿る場所と捉えることもできます。



土星…山羊座と水瓶座の支配星であり、制限や限界を司る天体です。制限や限界とは、それを知ること、はじめて確実な計画ができるものです。試練を通じて、強い自分、確固たる自分を作るための力を与えるので、それを乗り越えて精神的成長を勝ち取るか、逃避して生涯のコンプレックスとするかは、その人次第です。地球上の3次元生命にとって、超次元へのスターゲイト(外宇宙への窓口)として、土星は機能しています。



カイロン…土星軌道の内側から天王星軌道の外側にまで至る独特の軌道を持つ天体で、土星の内側となるインナープラネット(太陽から土星まで)と、土星の外側となるアウタープラネット(天王星、海王星、冥王星)の橋渡しの役目を果たします。わたしたちの核心にある、癒すことができないと思いついて入っている心の傷を表します。



天王星…改革と革新を司る天体です。当たり前を日常を突破して作り出される、新鮮で白熱した冴えた力を示します。この天体が作用すると、独自性や自覚を強く重んずるため、精神的成長が伴わねば、孤立や反動的姿勢となって表れます。



海王星…自己という殻の外を示す天体と言われ、意識の境界線を溶かし、無意識の彼方に貴方を連れ去ります。現実世界に魔法の霧をかける力を持ち、陶醉、忘却、混沌と言った事象を表します。海王星は、次の冥王星とは双子の天体で、精神的成長を遂げると、無意識を宇宙意識に繋ぐ役割を担っています。



冥王星…再生の天体です。人が心の深部へと自身を掘り下げようとした時に力を及ぼし、魂の変容を体験させたり、深い感動を伴う作品や思想を授けるなどの事象を引き起こします。物事を根底から破壊し、再生する力を意味します。冥王星は海王星と双子の天体で、精神性を完成させ、高次の自己(ハイアーセルフ)と調和させる力を授けます。



パート・オブ・フォーチュン…太陽と月、そしてアセンダントから計算された感受点であり、これらの3つの感受点共同で作用するとき、わたしたちの真摯な試みは、大きな幸福と成功を獲得します。現世における成功へと向かって、どのように動かされ、どのような活動が幸運をもたらす、その活動を満たすことの可能な場所(もしくは領域)を表します。

■11天体の役割

太陽から土星までの7天体は、現実世界(地球の三次元世界に象徴される)の貴方を表します。そして、土星の示す制限や限界、試練を越えることで、人間はカルマを手放し、超次元の存在となる手形を得られます。そして、その手形を携えた上で、天王星の力で三次元の柵(しがらみ)を拭き去って自立し、海王星と冥王星のツインパワーで覚醒することになります。

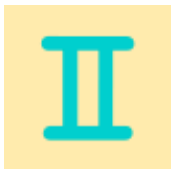
■黄道十二宮の各サイン(星座)のシンボル



牡羊座…スピードが大事／直感力や閃きで勝手に動きたくなる衝動がある／新しいことを始めるのが好き／新鮮さが好き／チャレンジしたい／ストレートに伝える／猪突猛進／相手が反応しないと諦めるのも早い／駆け引き出来ない／束縛されたくない／気が付いたらリーダーに



牡牛座…早さよりも確実さを求める／安全を確認してから行動する／繰り返すことで強めて行く職人タイプ／ペースを崩されることを嫌う／トップクラスの頑固さ／所有欲が旺盛



双子座…好奇心が旺盛／色々なことに首を突っ込む／情報の変化や刺激が好き／慣れると違うことをしたくなる／ルーチンワークが苦手／方向性がコロコロ変わる



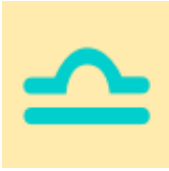
蟹座…身内、家族、仲間を大切にする／人と共感し合うことが好き／心を許せる人には親切で面倒見も良い／アットホームで生活に密着したことに向く／感情を外に出して行くと健康的に



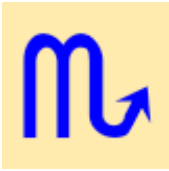
獅子座…自分や自分の作品が注目されることを好む／自身のクリエイティブさを見てもらいたい／大人になっても子供心がある／自ら輝くため周囲に人が集まる／自らを楽しむことが周囲を楽しませる／壮大な演出が好き



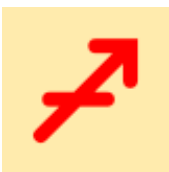
乙女座…人の役に立ちたい／分析力がある／細かいところをチェックする／管理する、まとめる、整理することが得意／実務能力があり色々な仕事をこなせる／やった分だけ自分の目で確認出来ることを好む



天秤座… 社会的／新しい情報、人、ネットワークを求める／新鮮さを求める／他者と自分を比べる／負けず嫌い／人との関係が財産／センスの感じられる人と接することを好む／知的な刺激がもらえる会話が好き



蠍座… 特定の相手や物事に対して、深い愛情を持ち、維持しようとする／はじめは懐疑的だが、興味があると感情を注ぎ込み集中力を発揮／物事を見抜く洞察力と観察力／奥に入り込む深い仕事を好む／集団を結束する力を持つ／人と人とを結び付ける力もある



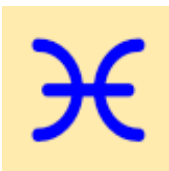
射手座… 今ココに無いモノを求める／知的好奇心が旺盛／興味のある分野は勉強熱心／全体像を見る視野を持つが、悪く出ると大雑把／自由人で縛られることを嫌う



山羊座… メリットがあれば動く／無駄を嫌う／目標が決まっているとコツコツ頑張る／休み無く動き続け上昇志向が強い／努力を惜しまない／約束を守る／感情を顔に出さない／親しき仲にも礼儀を大切にする／他人から言われたことを気にし過ぎる／取り越し苦労に陥りやすい

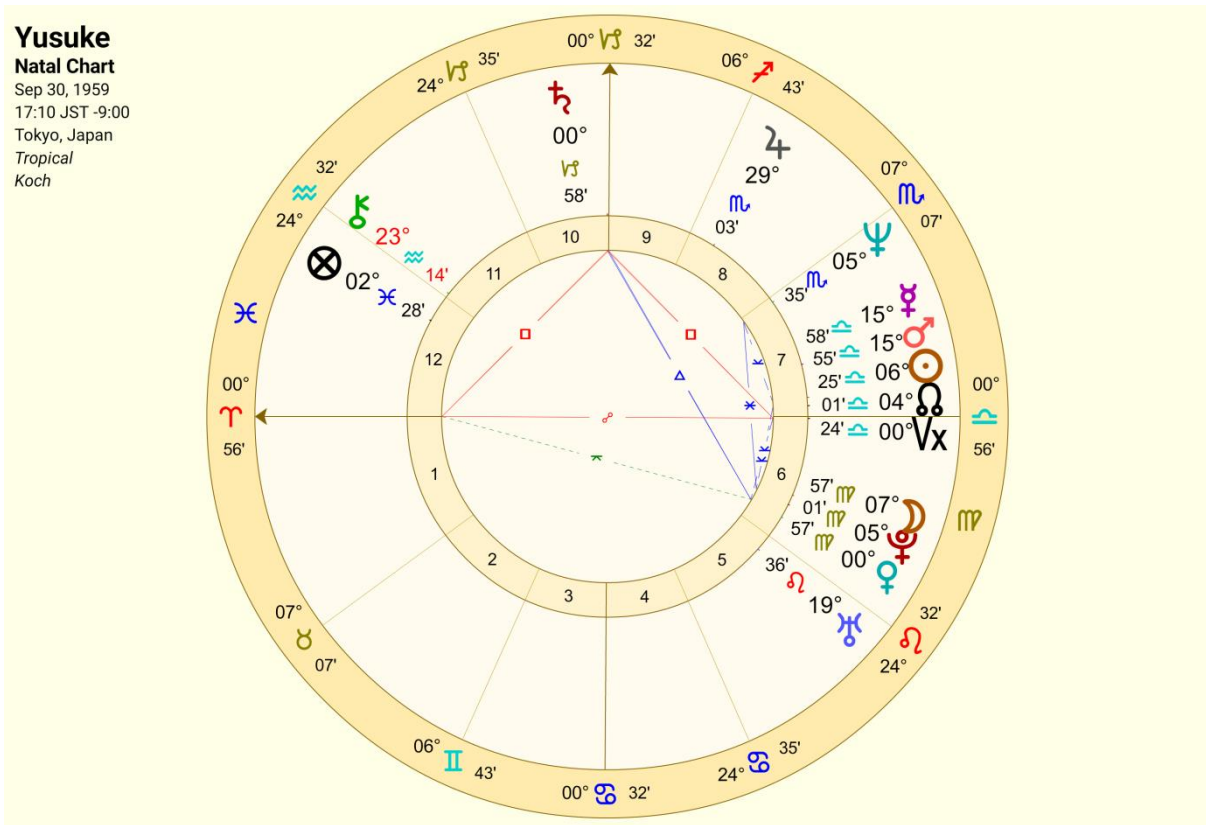


水瓶座… 他人と一緒にイヤ／枠に嵌りたくない／ルール外や規格外が好きで、変わっている人と言われたい／オリジナルティの大切さを知っている／人とは一定の距離を保つ／人は人、自分は自分／プロデュースが好き／自由な環境を好む



魚座… 他者との感情の境界が曖昧／奉仕的で優しくロマンチスト／矛盾した願望を同時に抱く／スピリチュアルで芸術的／自己犠牲になりがち／可哀そうな自分に酔う／良くも悪くも話しをした内容からイメージが広がる／気になると色々考え過ぎる

■実際のホロスコープ



上図のように出生のホロスコープとは、独特な円盤が幾重にも重なったものです。黄道十二宮 (5~6ページ) を示す最外周の円盤には、ハウスの起点となる各サインの度数が示されています。黄道十二宮とは、地球上における人間の三次元的な成長を表すものです。上図のホロスコープの場合、出生の日時と場所から、アセンダント (1ハウスの起点) は牡羊座から始まっていますが、これは人によって異なります。誰のホロスコープにおいても共通しているのは、アセンダントは「真東」を意味するため、ホロスコープの最も左の点 (時計の9時の方向) にあって、それは黄道十二宮の何らかの星座の特定の角度から始まっており、更には牡羊座を起点として反時計方向に、牡牛座、双子座、蟹座、獅子座、乙女座、天秤座、蠍座、射手座、山羊座、水瓶座、魚座の順序で並んでいます。また感受点同士が、円盤の最も内側の空間で、赤や青、緑の線で結ばれている場合があります。この線をアスペクトと呼び、感受点同士の干渉具合を示します。これについては、セッション内で詳しくご説明します。また、黄道十二宮の内側の円盤には、2ページから4ページで説明した沢山のシンボルが配置され、アスペクトの外側の円盤には、1~12の数字が刻印されています。この数字の刻印された区間を「ハウス」と呼びます。各ハウスには、次の意味があります。

1ハウス…アセンダントは、1ハウスへの扉でもあります。かけがえのない個人として、自分が誰であるかを構成する全てのを維持する場所です。1ハウスとは、「これがわたしである」の部屋であり、パーソナリティを構成する全てのものだけでなく、容姿にも関係します。

2ハウス…肉体を維持し、物質的な所有物を保持するだけでなく、才能や能力、技能も蓄えている場所です。2ハウスは「金銭」のハウスのひとつ (6ハウスと10ハウスと共に) であり、金銭を、どのようにして稼ぐかを示します。また2ハウスは、肉体の感覚、自分が価値を認めるもの、物質的世界をどのように経験して行くかも関係します。

3ハウス…チャートの中でコミュニケーションの中心となる場所です。周囲の環境、兄弟姉妹、隣人へと注意を向けようとするとき、向かって行く場所です。3ハウスは、短期の旅、手紙、書くこと、初等教育にも関連しています。3ハウスは、学びと適応に関係し、自分の環境と、どのように関わって行くかも示します。

4ハウス…個人的な時間を過ごす場所であり、家族や親しい友人たちと共有する場所でもあります。一人になりたいとき、そこへ行きますが、愛する人たちとの繋がりがや、密接さを感じたいときにも4ハウスへと向かいます。そこはチャートの西半球にあるため、他者との関係や交流に焦点が置かれます。また4ハウスは、不動産や資産とも関連し、チャート上での父を示します。チャートの中で最も隠されていて、ごく僅かしか目に見えない場所でもあります。

5ハウス…寛ぎ楽しむための場所です。創造性、自己表現、ゲーム、あらゆる種類のギャンブルは、5ハウスの中で見つけられます。また、子供も5ハウスと関連します。5ハウスは恋愛にも関係し、あらゆるロマンチックな人間関係、また同じ屋根の下で生活していない人間関係の場所(二人が結婚したなら7ハウスの人間関係)です。本質的に5ハウスは、自分がかげがえのない存在であると、感じることを求めるときに向かう場所で、ここでの経験は、気分の良さを与えてくれます。

6ハウス…日々の仕事を行うための場所です。物質的な世界で生きて行くために、日々遣らねばならない、ありとあらゆる日課や業務と、ここで出会います。物質的世界に関する、学ぶべき事柄へと関心を持つ場所でもあります。仕事(必ずしも、キャリアやライフワークとは限りません)、仕事仲間、仕事の環境と関係しています。また6ハウスは、肉体や健康にも関係しており、病気に関連するハウスでもあります。6ハウスに惑星があること自体が、健康に関する問題を予防するために、すべきことを示す場合もあります。

7ハウス…他者との関係する活動のための場所です。そのため7ハウスは、自分の一部であることを忘れてしまう傾向があります。1ハウスが「わたし」であることの全てであり、7ハウスは「わたしではない」ことの全てであり、人間関係を通して7ハウスを経験します。結婚のハウスであると同時に、敵を招き入れるハウスでもあります。

8ハウス…「わたしのもの」である2ハウスに対極する8ハウスは、「わたしのものでない」全てのものを意味します。死、税、遺産とも関係しています。8ハウスは、安心感(感情的でも、魂のレベルでも)とも関係します。チャートの西半球にあるため、他者と関係するにも関わらず、とてもプライベートな部屋であり、様々な秘密や恐れを蓄える場所でもあります。8ハウスは隠されたもの、埋められて秘められたものと関係しているため、心理学や心理療法の場所でもあります。

9ハウス…教育や短期の旅と関係する3ハウスの対極となるここは、より高等な教育と長期の旅に関連します。世界を探検し、見知らぬ文化、観念、人々との出会いを経験する場所です。組織化された宗教や聖職者とも関係します。夢をみたり、空想する時も9ハウスに向かいます。ここで身に付けることは、個人的な成長と啓蒙のためのものであり、キャリアや専門的職業で役立つ学びとは、10ハウスで出会います。

10ハウス…外の世界へと開かれた、公式な場所であり、個人の偉業を達成するために計画を立て、それが認められる場所です。10ハウスは、生き方そのものに関係し、運に恵まれるなら、選んだ職業とも関連します。権威を持った人、方針を作る人にも関連しており、古典占星術においては、最高の権威を持ち方針を作る人である「母」と関係づけられています。

11ハウス…友人や同僚と過ごすために向かう場所で、集団で物事を行うための場所です。ゲームの部屋である5ハウスの対極ですが、これらの部屋は多くの共通点(どちらも、それ自体が楽しい場所)を持ち、主な違いは、11ハウスが人々や集団と一緒に過ごすのに対して、5ハウスでは一人であるか、もう一人の誰かと過ごすこととなります。11ハウスは、友情や友人との関係を示し、希望や願望とも関係します。

12ハウス…魂と霊的な本質を維持するためにしなければならないことと関連します。一人になる時間を必要とするとき、日々の生活の要求やストレスから一息入れたいとき、12ハウスへ向かいます。12ハウスに関する物事は、隠されていてプライベートなものですが、ここに関する物事を知るのは、常に自分が最後です。12ハウスが、自身の影の部分であるとするなら、それを自分自身であると思わず、誰か他の人にそれを見てしまうこととなります。また12ハウスは、目に見えないサイキックで霊的なものと関連しています。12ハウスの影響を意識的に気付くことがないため、それらは舞台の背後で作用することとなります。

■アスペクト表とシンボル

この階段状の表は、アスペクト表と言い、惑星同士が特別な角度にある場合、その関係を一目で判るようにしたものです。以下は、この表内に使われているシンボルです。

- ☉ コンジャンクション …重なっている
- ☽ オポジション …対極 (180度) にある
- △ トライン …120度の関係にある
- ◻ スクエア …90度の関係にある
- * セクスタイル …60度の関係にある
- ∨ セミセクスタイル …30度の関係にある
- ∧ クリンカンクス …150度の関係にある